

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公表番号】特表2011-500147(P2011-500147A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-528898(P2010-528898)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 A

A 6 1 B 19/00 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月7日(2011.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

診断データを収集するシステムであって、

放射線画像化システムから複数の放射線画像を受け取るように構成された計算装置であって、ここで該複数の画像の各々は、放射線不透過性ターゲットおよび造影物質を包含する領域を表わし、各放射線不透過性ターゲットは放射線画像における1つの場所と関連しており、さらに各放射線画像から複数の値を計算するように構成され、各値は、少なくとも、経路に沿った位置に対する局所画像フィールド内の放射線画像の強度から計算され、前記経路は、少なくとも、複数の放射線不透過性ターゲットの場所に基づいている前記計算装置；および

前記複数の放射線画像の各々について、前記複数の値を、経路に沿った位置の関数として表示するように構成された前記表示装置

を含む、前記システム。

【請求項2】

放射線画像システムが、ベースライン画像を取得するようにさらに構成され、該ベースライン画像は造影物質が不在である時点における領域を表わし、

計算装置が、放射線画像から前記ベースライン画像を差し引くようにさらに構成されている、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

計算装置が、複数の放射線画像の中の1つの放射線画像について複数の値を計算する前に、前記放射線画像からベースライン画像を差し引く、請求項2に記載のシステム。

【請求項4】

計算装置が、複数のベースライン値を計算するようにさらに構成されており、各ベースライン値は、経路に沿ったそれぞれの位置に対する局所画像フィールドにおけるベースライン画像の強度であり、

複数の放射線画像の中の1つの放射画像について、複数の値からの各値を、経路に沿ったそれぞれの位置についての局所画像フィールドにおける放射線画像の強度から、複数のベースライン値からの各々のベースライン値を差し引くことによって計算する、請求項2

に記載のシステム。

【請求項 5】

複数の放射線画像が連続的に入力され；

計算装置が、複数の放射線画像の中の各放射線画像に対して、複数の値を実時間で計算するように構成され、

表示装置が、実時間で、複数の値を表示するようにさらに構成されている、請求項1に記載のシステム。

【請求項 6】

表示装置が、複数の放射線画像の中の各放射線画像について、対応する複数の値を、位置軸および時間軸を含む時空間的プロット上に表示するようにさらに構成されており、

ここで、各放射線画像について、前記対応する複数の値の各々が、位置軸上の経路に沿った対応する位置で、かつ画像が取得された時点に対応する時間軸上の時間においてプロットされる、請求項1に記載のシステム。

【請求項 7】

計算装置が、複数の放射線画像の中の1つの放射線画像から、各放射線不透過性ターゲットの場所を決定するようにさらに構成されている、請求項1に記載のシステム。

【請求項 8】

複数の放射線不透過性ターゲットが、体管腔内への挿入に適合されたカテーテルに取り付けられている、請求項1に記載のシステム。

【請求項 9】

カテーテルが、圧力センサーをさらに含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項 10】

表示装置が、圧力センサーで測定される圧力データを表示するようにさらに構成されている、請求項9に記載のシステム。

【請求項 11】

カテーテルの長さに沿って組み入れられた複数の圧力センサーを含む、前記カテーテルをさらに含み、

該複数の圧力センサーの各々が経路に沿った位置を割り当てられており、

前記複数の圧力センサーの各々が圧力データを得て、

表示装置が、複数の値の表示と共に記載された圧力を表示する、請求項1に記載のシステム。